

平成26年5月8日(木)
 愛知県環境部水地盤環境課
 調整・生活排水グループ
 担当 川村、小久保 内線 3041, 3042
 (ダイヤル) 052-954-6219
 愛知県建設部河川課
 環境・海岸グループ
 担当 佐藤、清水 内線 2732, 2733
 (ダイヤル) 052-954-6556
 愛知県建設部下水道課
 公共下水道グループ
 担当 水谷、玉置 内線 2683, 2688
 (ダイヤル) 052-954-6535

油ヶ淵 清流ルネッサンスⅡの進捗状況（平成25年度）について

油ヶ淵水質浄化促進協議会（愛知県、碧南市、安城市、西尾市、高浜市）は、県内唯一の天然湖沼である油ヶ淵の水環境の改善を図るため、「油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」を平成16年度に策定、平成23年度に改定をし、総合的な対策を進めております。

本日、開催しました「平成26年度油ヶ淵水質浄化促進協議会本会議」において、平成25年度の油ヶ淵の水質はCOD75%値 7.7mg/L（速報値）となり、目標値である6.0mg/Lを超過していること、及び平成25年度における本計画の進捗状況（下表）が報告されました。

さらに、目標達成に向け、県と関係4市は、引き続き河川・湖内対策や下水道整備を始めとする各種の水質改善対策を総合的に推進するとともに、下水道への各家庭の早期接続や水環境に対する保全意識の高揚などについて、流域住民の一層の理解と協力を求めていくこととしました。

表 油ヶ淵清流ルネッサンスⅡの進捗状況の概要（平成25年度）

水質改善対策	目的	計画概要(計画期間:平成16年度～32年度)		平成25年度実績
		項目	32年度目標値	
河川・湖内対策	富栄養化の要因であるヘドロの除去と窒素・リンの溶出抑制	河床浚渫	4.2万m ³ (累計)	－ (累計:3.7万m ³)
		湖内覆砂	13.2万m ³ (累計)	平成24年度までに完了
	流入河川、湖の多自然化(植生)による浄化の回復	植生浄化	9km	0.2km ※2 (累計:2.4km)
下水道整備	水質汚濁の主な原因である生活排水による汚濁物質の流出削減	下水道普及率	74%	69% ※2
農業集落排水		接続率	82%	83% ※2
合併処理浄化槽整備		接続率	100%	98% ※2
市街地対策		合併処理浄化槽人口	13,854人	11,970人 ※2
農地対策	降雨時の市街地から流出する汚濁物質や農地から流亡する窒素・リンの軽減	浄化槽の雨水貯留タンク転用	190基(累計)※1	9基(累計:39基) ※2
		側条施肥	西尾市:65%	70% ※2
畜産対策	畜産排水の水質改善		実施	18件(延べ) ※2
産業排水対策	工場排水の水質改善	118件		
その他 (啓発活動等)	水環境に対する保全意識の高揚	一斉清掃参加者数		4,378人
		水環境モニタリング地点		84地点

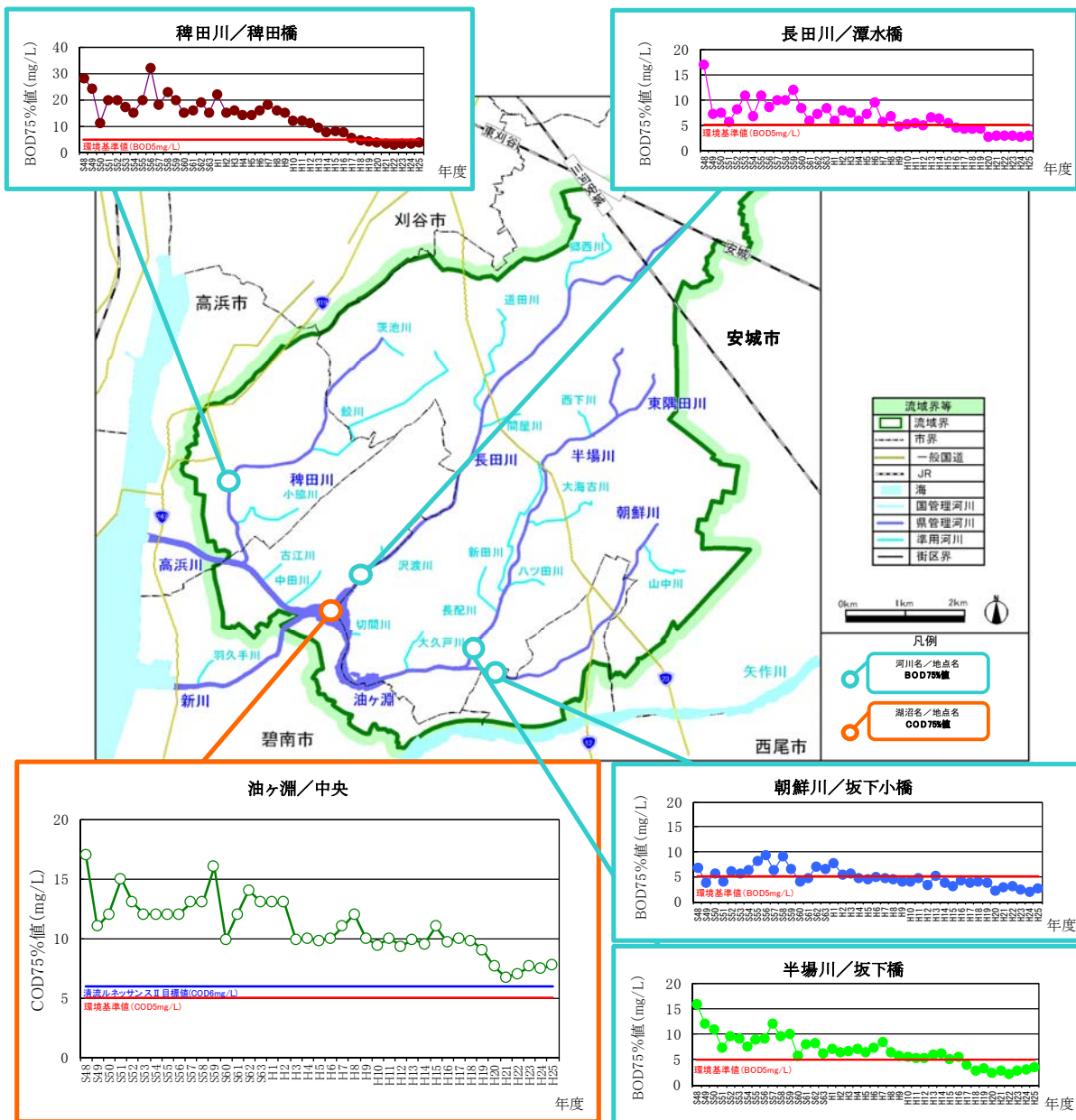
※1は浄化槽の雨水貯留タンク転用の目標基数はH23～32の累計

※2は見込み

1. 平成 25 年度の水質について

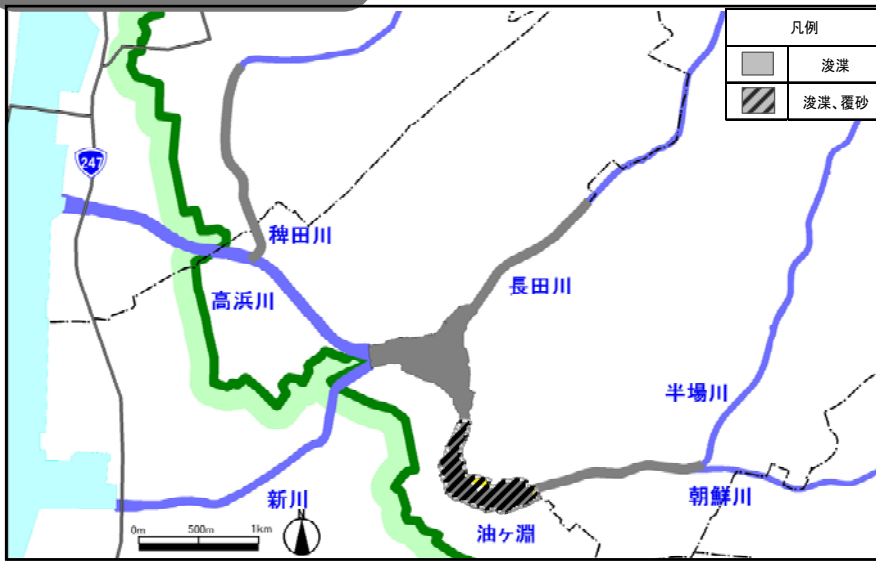
- 流入河川の水質は改善傾向にあり、近年、BOD75%値は環境基準を達成している。
- 油ヶ淵の水質は改善傾向にあるが、平成 25 年度の COD75%値は 7.7mg/L（速報値）で、目標値は達成していない。

水域名	地点名	環境基準値	清流ルネッサンスII 目標値	平成25年度調査結果(速報値)			(参考)平成24年度調査結果		
				75%水質値	環境基準 適合状況	目標値の 適合状況	75%水質値	環境基準 適合状況	目標値の 適合状況
油ヶ淵	中央	5mg/L (COD75%水質値)	6mg/L (COD75%水質値)	7.7mg/L	×	×	7.5mg/L	×	×
稗田川	稗田橋	5mg/L (BOD75%水質値)	-	3.8mg/L	○	-	3.3mg/L	○	-
長田川	潭水橋			2.9mg/L	○		2.7mg/L	○	
半場川	坂下橋			3.4mg/L	○		3.0mg/L	○	
朝鮮川	坂下小橋			2.7mg/L	○		2.0mg/L	○	



2. 河川・湖内対策

浚渫と覆砂



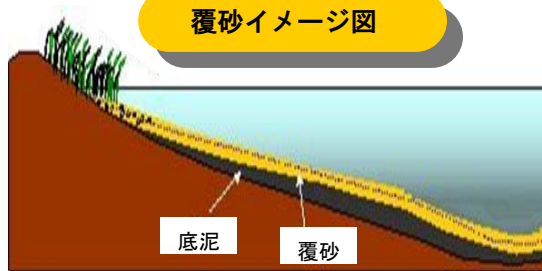
浚渫施工状況



覆砂施工状況

凡 例	
■	平成23年度以前
■	平成24年度
■	平成25年度
■	平成26年度見込み

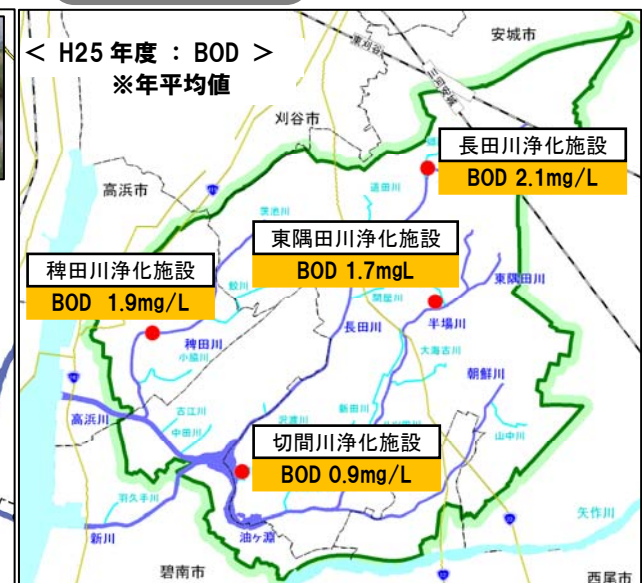
覆砂イメージ図



植生浄化



直接浄化施設

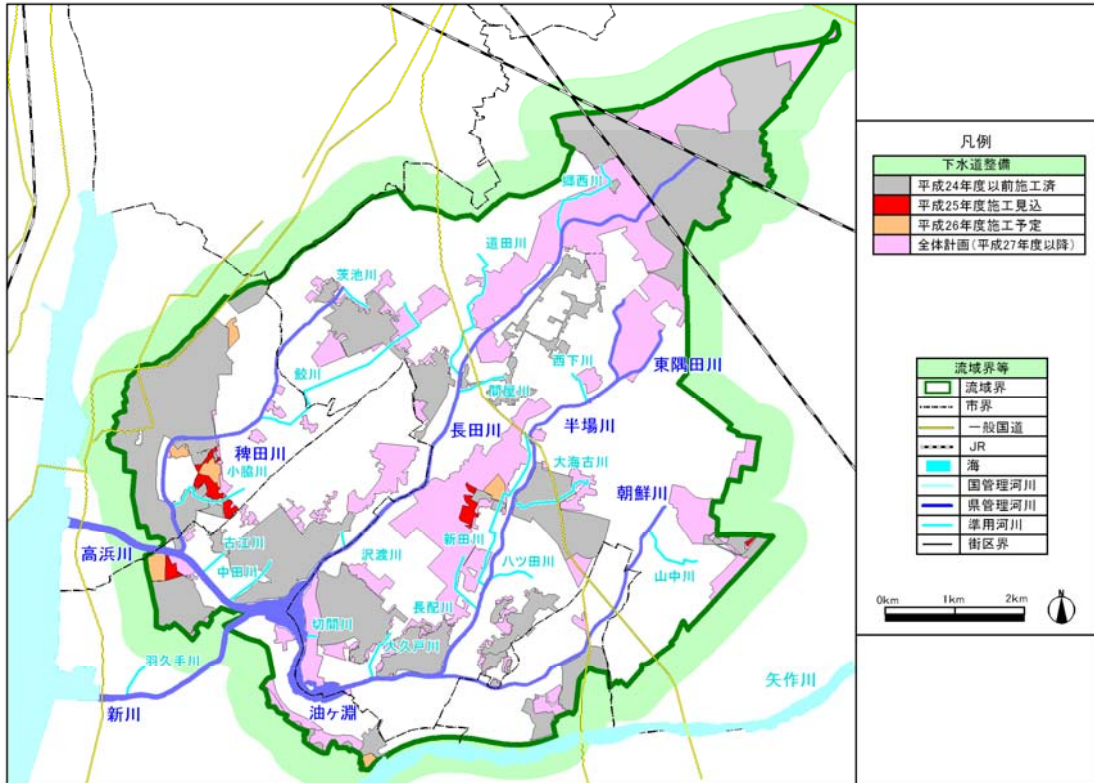


家庭などから排出された汚濁物質は、ヘドロ生成の原因となり、河床や湖底に堆積したヘドロからは富栄養化の要因である窒素やリンが溶出します。

これらの対策として、河川水の直接浄化や、河床浚渫によるヘドロ除去、多自然化による自然浄化機能の回復を目的とした工事を計画的に進めています。

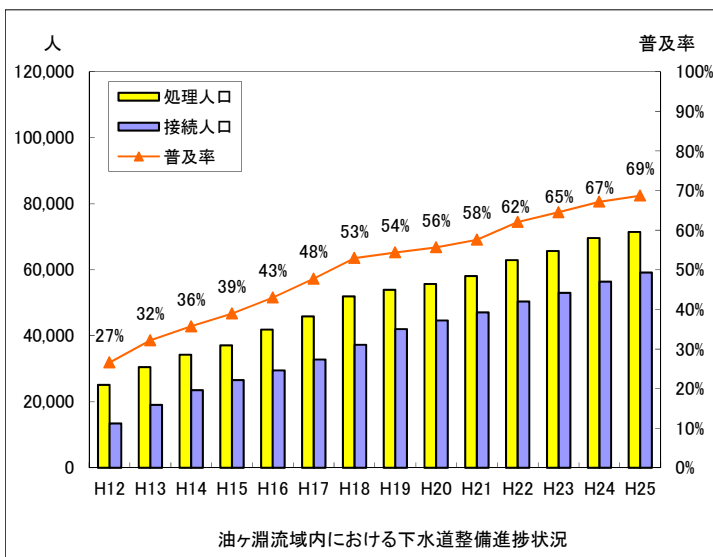
3. 下水道整備進捗状況

下水道整備区域



※下水道整備済区域内人口＝処理人口

下水道整備進捗状況



- 下水道整備による水質改善は、各家庭から下水道管へ接続することで効果が出ます。よって、下水道の普及率とともに、接続率の向上が重要です。
- 本計画の平成32年度（目標年度）における下水道整備の目標値は、普及率74%、接続率82%であるのに対し、平成25年度（見込み）は普及率69%、接続率83%でした。

注 普及率＝処理人口／油ヶ淵流域内人口
 接続率＝接続人口／処理人口